

な報  
第45号

# 上野東部だより

2020年3月15日  
発行  
東部地域住民自治協議会  
総務広報部会  
伊賀市緑ヶ丘東町920  
上野東部地区市民センター内  
TEL・FAX 24-3999



切磋亭琢磨の  
人権落語

人権  
パネル展



## 笑って考えよう みんなの人権 切磋亭琢磨の人権落語講演会

昨日の寒さと、打って変わり、あたたかな晴天の中、令和元年11月30日(土)東部地区市民センターにて「切磋亭琢磨の人権落語講演会」が開催されました。テーマは「笑って考えよう みんなの人権」です。約80名の参加者。館内は終始笑いの渦で笑顔満開でした。

「切磋亭琢磨」さんは三重県津市で生まれ、大学卒業後小学校の教諭をされ、その後「社会人落語家」として活躍しています。日常的にある身近な人権問題にとりくみ、人権はどこにでもあるちょっとしたことで気づくことが大切です。連れ合いを看取った体験や、次女が離婚し1才・6才の孫と妊娠8ヶ月の娘と同居し、それまでの一人暮らししから4人暮らしになり、ストレスがたまる生活の中で身近な人権問題も多く発見された体験を話されました。結論は、ネガティブ(消極的)に生きるので

なくポジティブ(積極的)に生きることが人生を豊かにするとの講演に感動しました。

人生100年時代を健康に生きていくことも人権です。生きがいも人と人の間に生まれます。健康に生きていく3つのポイントを教えてくれました。

①「笑うこと」 笑うと「ナチュラルキラー」が生じ  
免疫力が高まる。

②「歩くこと」 牛乳を飲むより配達をしている人の  
方が元気です。(笑いあり)

③「ストレスをためないこと」

参加者の皆様の笑顔と笑い声が明日への人生の  
希望となりました。

同日、東部地区市民センターでは人権パネル展も同時開催されました。

〈取材：鷹森 由紀子〉

2019年度

# 楽しかった部会事業

## Photo Album

### 健康福祉部会

健康ウォーク松阪(10月)



健康(ヨガ)教室(11月)



### 環境保全部会

環境講座(9月)

「魔法の水・マイエンザ」

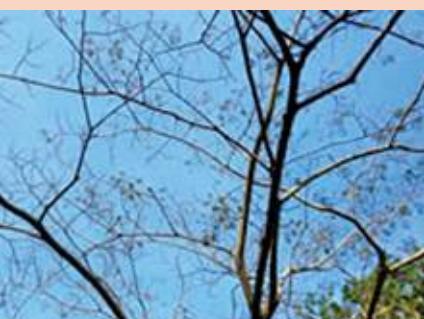


### 教育・文化・スポーツ部会

世界文化遺産「高野山」を  
訪ねて(11月)

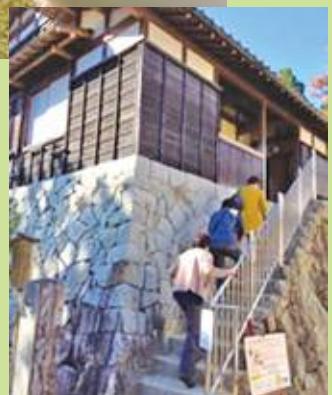


上野森林公園秋の散策  
(11月)



環境学習会(11月)

～木曽三川公園・水と生きる～



**参加者延べ1430人。**  
**来年度はぜひあなたも参加を!**

## 教育・文化・スポーツ部会

スポーツ大会(2019年3月)



## 防災防犯交通安全部会

第12回東部地域住民自治  
協議会防災訓練(10月)

「令和元年、年末合同出動式」  
に参加(12月)



## 人権啓発部会

人権研修会「杉原千畝記念館」  
を訪ねて(9月)



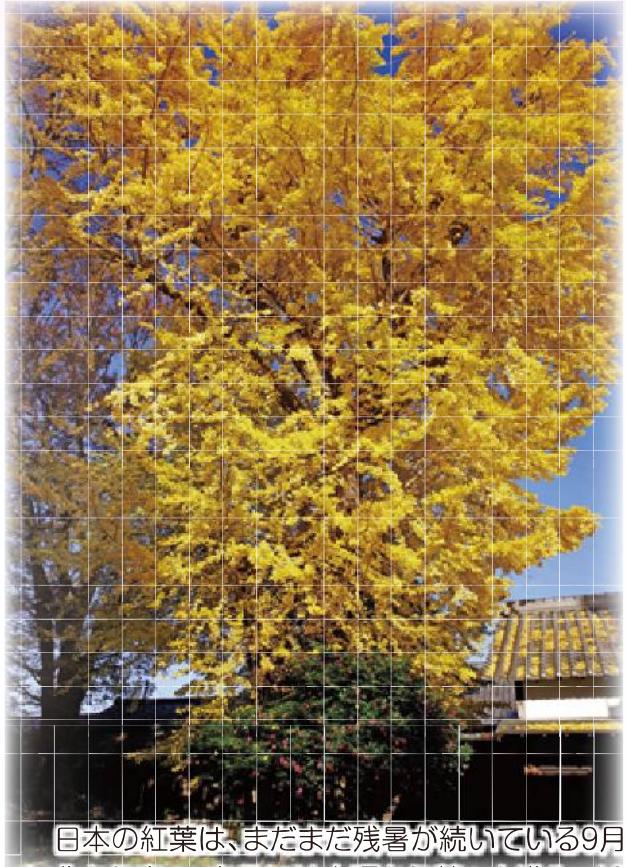
## 産業振興 まちづくり部会

「伊賀、大和路街道」  
灯りの芭蕉路(10月)



## 新鮮市(10月)



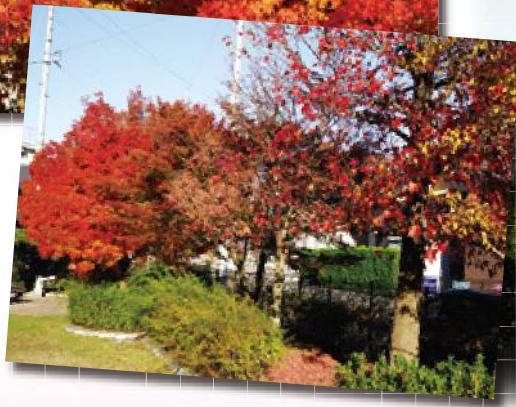


東お旅所の  
イチョウの黄葉

日本の紅葉は、まだまだ残暑が続いている9月下旬、北海道の尾根・大雪山系からはじまり、春の桜前線とは逆に北から南へ、あるいは山頂から麓へと進み、12月上旬には鹿児島へ達します。伊賀地方の紅葉の見ごろは例年11月下旬です。小春日和の日に東部地域の紅葉のきれいなところを見つけようとカメラ片手にぶらり東部をしました。桜の名所はたくさんありましたが、紅葉の名所は数えるほどでした。今回号はその中で黄葉と紅葉のナンバーワンと思われた2ヶ所を掲載します。車坂町にある「東お旅所」のイチョウの大木と城北のフレックスホテルの東側の「もみじ公園」にある真っ赤なもみじです。もっとよいと思われるところがありましたなら東部公民館にご連絡ねがいます。



もみじ公園の  
もみじの紅葉



(取材：縄手 稔)

# 避難所マニュアルについて ⑧

広報35号(東部だより)から避難所マニュアルの重要なところを掲載しています。第1回は「各自治会別災害時の避難場所」、第2回は「避難所開設・基本方針について」、第3回は「災害発生～避難所開設・運営・撤収の流れについて」、第4回は「災害発生～開設までの流れについて」、第5回は「災害発生から開設までの役割による人の流れについて」、第6回は「避難所開設～運営の情報伝達のしくみについて」掲載しました。第7回からは「災害が発生したらまず身の安全確保・避難～避難所運営体制づくり～避難所運営～避難所撤収・閉鎖」まで数回にわけて掲載しています。前回は「身の安全の確保・避難」を掲載、今回は「避難所開設準備・開設」です。

## 避難所開設準備・開設

### 避難所開設準備・開設

災害時、地域が主体となって避難所を開錠し、受け入れ準備、レイアウトづくりを進めて避難所を開設します。

#### 開設の判断

●地震の場合	原則必要な場合(地域にとどまっていることが危険、あるいは不安であると判断した場合、避難者がいる場合)
●洪水、土砂災害の場合	原則必要な場合(避難所準備情報・勧告・指示発令時)

#### 1. 準備のための開錠

避難所開設準備の第一歩。 開錠はすばやく!

原則的には、鍵保管者が避難所にかけつけ、必要な箇所を開錠します。

##### 避難所開設準備に必要なもの

各自治会ごとで準備しているリストをつくっておく。

- 非常発電機(カセットボンベ式) ○照明器具セット ○延長コード ○ランタン ○ブルーシート
- 避難所開設セット
  - ガムテープ • 模造紙 • 筆記用具 • 様式書類つづり • ビニール袋
  - 掲示板 • 簡易ゼッケン • タオル • マスク • 簡易トイレ

#### 2. 受入準備

いち早く安全確認して使用できる場所を確保しよう!

応急的に対応できる人で手分けして、避難所を受け入れるための準備を行います。施設管理者が使用可能と判断した場合、事前の協議に基づいて受け入れ準備を進めます。

#### 3. レイアウトづくり

あらかじめきちんとレイアウトすることが混乱をなくします。

##### これだけはチェック……レイアウトにあたって再確認

- みんなが活動しやすい場所に ..... まず、通路をつくる
- プライバシーを配慮 ..... 男女別更衣室は重要
- みんなに情報が行きとどくように ..... 見える化を意識
- トイレが使いやすいように ..... 要援護者は通路側に
- 季節によって他に考えておくべきこと
  - 適切な水分補給ができるように(特に夏) ..... 給水所の設置
  - 効率的に暖がとれるように(特に冬) ..... 暖房器具の設置

#### 4. 避難者への避難所開設・受付開始

人数把握を迅速に行なうことが円滑な避難運営につながります。

受付で町単位で避難者の人数を確認し、避難者の名簿の記入を依頼して、避難者等の名簿づくりを進めます。

\*次回は運営体制づくりについて掲載します。

# 東部地域住民の生命と財産を守る 消防団員を募集しています。

# 上野中分団第一部

## 消防団から地域の皆さんへのお願い

私たちが日ごろ、火災や災害から身を守り、安心して暮らしていけるために、消防団員が活動しています。近年の異常気象の中、地域に根差した我々消防団に求められている使命はより深く、強く感じます。しかし消防活動へのアピール、理解度も少なく、共感が得られてないのが実情です。団員は職業、職種も異なる仲間が集まっています。他の地区の消防団員との出会い、地域の方々との出会い、様々な出会いがあることも魅力です。自分たちの町は自分たちで守るとの思いで一人でも多くの方に理解していただき、一緒に楽しく、地域防災のために取り組んで頂ける方を心よりお待ちしています。

## 消防団の活動内容

- ・夜警（毎月15日）
  - ・放水訓練（毎月中旬）
  - ・出初式（1月）
  - ・夏期訓練（7月）
  - ・防災訓練応援（10月）
  - ・年末夜警（12／28～30）
  - ・春秋の防災週間パトロール
  - ・各種団体の救命講習の講師
  - ・操法大会への練習
  - ・火災発生時の消火
  - ・台風接近時のパトロール
  - ・伊賀市花火大会の警備



連絡先：東部公民館（0595-24-3999）、各自治会長

編後記

数年前に「TOKYO2020」と決定した時は、ずい分先のことだと思っていたが、今年は2020年、ついにその年になりました。この夏はきっと暑い中、オリンピックの感動と興奮に、日本中が包まれることと思います。

そして、せっかく二度目の東京で行われるのだから、オリンピックが終わった後、これから日本がもう一歩進んで、暮らしやすい国になっていったら…と思います。

上野東部だよりも、今回で本年度最終号となりました。地域の皆様方の協力で、発刊することができました。これからも部会員一同頑張ってまいりますので、次年度もご協力よろしくお願ひします。  
(藤井 恵美)

# ホトコナー

## 「ウグイスの練習」

